

知的資産経営報告書 2024



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

ツボサカ機鋼では SDGs 達成の目標を掲げ、取り組んでおります。

目次

1	ご挨拶	3
2	沿革	4
3	TEAM tB 各社事業内容	5
4	TEAM tB 関連図	9
5	TEAM tB の強み・優位性	10
6	現在価値ストーリー	12
7	TEAM tB商流	13
8	市場環境(経営課題と戦略)	14
9	MISSION MAP	15
10	将来価値ストーリー	16
11	今後のビジョン	17
12	CSR(企業の社会的責任)	18
13	SDGsの取組み	19
14	あとがき	20

1.ご挨拶

ツボサカ機鋼株式会社は、1970年に創業者壺阪俊彦が当時の福永機工から独立し、現副社長の代谷日出男氏と2名で設立しました。設立は姫路市柿山伏で、自宅兼事務所でスタート。私自身は当時小学1年生で、夜はベアリングを油紙にまく内職の手伝いをしていました。その頃は日本も高度経済成長期で汗をかいて働けばお金儲けが出来た良き時代でした。父親はよく「1万円儲けるのがどれだけ難しいか」と子供ながらに聞かされていました。その5年後に現専務の前田雄三氏が入社して来ました。2025年には創立55周年を迎えます。

創業期からのメンバーはこの2名だけになり、ツボサカ機鋼の歴史でもあります。私がツボサカ機鋼に入社したのは1990年。大学を出て兼松江商さんでお世話になりその後の入社です。このタイミングは弊社従業員であった古谷さん(シンエイ機工会長)が辞めて独立をするタイミングでした。私の入社と同時に5人の社員が辞めました。10人ほどの会社が5人になってしまい大変でしたが、そのおかげで一気に仕事を覚える事が出来ました。その時は辛い時期でしたが今思えば大概の事は乗り越えられる自信にもなりました。

2002年に私自身が社長に着き今年で22年目になります。その間、2008年に当時エーテックの濱端氏と共同でボルテック株式会社を設立。社名のボルテックはTBをひっくり返してBTから響きが合う名前と言う事で決めました。翌年2008年はリーマンショックでそこから3年間しんどかったです。

2012年はジーネットの古里社長と組んでタイに進出。タイではサンライズ工業の国光社長がいらっしやっただけで出て行く気になりました。最も大きな後押しはサンライズ工業の平石会長の後押しです。平石会長には創業者が亡くなった以降も経営者の資質向上の教を被り私の今の経営の基礎となっております。

2015年からインドネシアに進出。タイ進出前にインドネシアの関わりがあり奥信行さんと言うインドネシア在住の方より紹介があり中谷栄夫氏と組みインドネシアにて法人の設立。2016年には弊社のお客様であった竹川鉄工所の竹川社長の死去により竹川鉄工所を引き継ぐ事になりタケガワの頭文字をとりTGテック株式会社を設立。

2020年6月には炭火焼鳥ゆ鳥をフランチャイズとしてスタート。店長にはベトナム人のアン氏を採用。同2020年8月に弊社のお客様であった寺西工業株式会社のオーナーの寺西会長より経営をしてくれないか?とオファーがあり株式を取得してグループに合流。2021年には中学の後輩である溝内裕文氏と組み姫路駅で大衆串焼き酒場つぼさか商店をオープン。2023年には飾東町八重畑のトマト農園の石原農園さんと組み農業法人にして中途採用の中島氏をリーダーとして共同運営開始。2024年にはマレーシアクアラルンプールにて炭火焼鳥金の壺をオープン。このオープンに関してはグローリーを早期退職して弊社に入社してくれた宮本氏を店長としてこれから進めて行きます。

2008年のボルテックからスタートして16年間、ご縁だけで規模を拡大してきました。来年55周年を迎え5年後の2030年には60周年で100億企業を目指します。そして今なお言い続けている社内自治経営をもっと伸ばしyour companyとして意識出来る社風を一層構築させて行きます。



TEAM tB
壺阪 康裕



2.沿革

年度	出来事	知的資産との関連
1970	壺阪俊彦が『機械工具商』として創業(柿山伏) 自宅兼事務所でスタート	創業期 工具商として開業→西播地域の知名度向上 (高度経済成長期)
1971	ツツボサカ機鋼株式会社設立	
1977	現住所(北今宿)に本社移転	
1990	壺阪康裕(現社長)が入社 従業員10名のうち5名退社	転換期 現住所に移転 ボルテック(株)を グループ化しFA機器 設計が可能になる (2008年リーマンショック)
2002	壺阪康裕が代表取締役役に就任	
2008	ボルテック株式会社を設立しグループ化	
2011	壺阪俊彦(創業者)が逝去	
2012	タイにて現地法人設立(株ジーネット共同出資) サンライズ工業(株)平石会長の後押しにより初の海外進出	成長期 TGテック(株)をグループ 化し金属加工が可能 になる 寺西工業(株)をグルー プ化し機械組立・メン テナンスが可能になる (2020年～コロナ禍) 3社のグループ化によ りワンストップで、工具 から工作機械、専用機、 FA機器、メンテナンス まで対応が可能となる
2015	インドネシアにて現地法人設立	
2016	TGテック株式会社をグループ化	
2020	寺西工業株式会社をグループ化 炭火焼鳥ゆ鳥山吹店オープン	
2021	大衆串焼き酒場つぼさか商店オープン	
2023	飾東町トマト農園提携	
2024	マレーシアにて焼き鳥店開店	

3-1.ツボサカ機鋼株式会社

創業	1971年3月
経営理念	この企業は自己を世に問う舞台であり社会に尽くす手段である そして我々は、高い理想を目指す企業経営集団である
所在	兵庫県姫路市北今宿1丁目6-26
事業内容	工場設備販売 製造ライン自動化自然エネルギー事業 販売支援・その他 飲食事業 農業事業
従業員数	36名
当社の強み	<ul style="list-style-type: none">・付加価値の高い商材の提案力や営業力・スピードが早い。自社便にて自社社員が当日配達、若しくは翌日配達し、担当者へ直接納品 (Face to Face)・tBグループ会社との同行訪問等により、ものづくりに関するあらゆる困り事に対応



3-2.ボルテック株式会社

創業	2008年7月
経営理念	「ものづくり」の基本である「現場」「現実」「実現」の三現主義を基本にあらゆる可能性にチャレンジします。お客様に心から喜んで頂ける製品を提供し、共に進んでいける「パートナーシップ企業」をめざすことで「日本のものづくり」を応援します
所在	兵庫県神崎郡福崎町福田110-1
事業内容	ファクトリーオートメーション全般、専用機械の設計・製作・施工
従業員数	12名
当社の強み	「早い」「品質」「価格競争力」 <ul style="list-style-type: none">・金属加工も可能・専用機、FAを一貫して対応可能・電気、機械も理解しており、不調原因究明が早い・「ベテランから若手まで全員でする」・雰囲気良い(顧客からも高評価の工場)



3-3.TGテック株式会社

創業	2016年8月
経営理念	クリエイティブなものづくりで人と社会の未来を明るくする
所在	兵庫県姫路市高岡新町2-15
事業内容	金属部品加工
従業員数	12名
当社の強味	<ul style="list-style-type: none">・円熟した技術と技能による高精度加工の提供・熟練の加工ノウハウと充実した設備で、顧客のニーズに即納・作業品質安定のため独自の冶工具を制作・丸物・軸物に関わらず、異形物にも対応・厳格な自主検査基準による高品質の提供・性が働きやすい職場環境を整備



3-4. 寺西工業株式会社

創業	1945年5月
経営理念	お客様のお困りごとや課題にフォーカスし、私たちが創り出す製品によって取り除き、解決することでお客様、そして社会に貢献する
所在	兵庫県姫路市夢前町置本71-1
事業内容	専用機・自動機・省力化設備の設計・製作・施工 木工機の製造・販売
従業員数	12名
当社の強み	<ul style="list-style-type: none">・即時対応・現地対応(メカニックのプロが現地にお伺いし対応)・細かな案件対応・メカ製作と電装制御をワンストップで対応、打合せを効率化しスピーディな対応を実現・設計～製作までワンストップ対応



4. TEAM tB 相関図

■ コングロマリット

異なる業種や産業に属する複数の企業をグループ化し、経営統合することで1つの大きな企業グループを形成すること。

顧客

ツボサカ機鋼(株)を中心とした【TEAM tB】の各企業が相互に助け合い、グループとしてお客様のニーズに的確かつスピーディーに対応することを顧客提供価値としています。

TEAM tB

顧客紹介・営業協力
人材交流・技術指導

リトラ
エンジニアリング
(タイ)

PT.tB3
インドネシア

マレーシア

寺西工業

FC/飲食
事業

ツボサカ機鋼

ボルテック

石原農園

TGテック

5. TEAM tBの強み・優位性

当グループの知的資産

当社は機械工具所として創業し54年、地域の製造業に携わりお客様に最も適した『ものづくり』の方法をご提案しサポートしてきました。その中で蓄積された主な知的資産は次の項目があります。これらの知的資産について次頁以降で記載します。

知的資産とは企業が有する人材、スキル、ノウハウ、組織力、顧客のネットワーク、ブランド力等、目に見えない資産のことです。

知的資産の3分類

(赤字が当グループの知的資産)

分類	内容
人的資産	社長や従業員個人が持っている資産 ⇒社長や従業員が退職すると同時になくなる資産
	例) 技術力、経験、柔軟性、学習能力、モチベーション等 専門性 技術力 社長の求心力
組織資産	会社の仕組みとして根付いている資産 ⇒社長や従業員が退職しても組織の仕組みとして会社に残る資産
	例) データベース、文化、システム等 連携力(情報共有) スピード感 風土
関係資産	企業の対外的な関係(取引先など)に付随した資産
	例) イメージ、顧客ロイヤリティ、顧客満足度、金融機関 取引先 地域貢献 海外事業

5. TEAM tBの強み・優位性

分類	知的資産の詳細	
人的資産	専門性	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの技術者が直接現場へ訪問し、専門的な視点から提案を行います ・工作機械、FAシステム、CAD、CAM分野に強い技術商社として、長年の経験と実績でお困り事や課題を解決致します
	技術力	<ul style="list-style-type: none"> ・自動機・専用機を製作できる技術、部品加工技術、金属加工技術および農園での栽培技術を有しており、安価な部品供給とともに費用対効果の高いご提案とアフターサポートを行っています
	社心の力の	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ各社を取りまとめ、社内体制を構築。グループ間でのミーティングを密に行い問題点を洗い出し即座に解決策を見いだしています ・グループLINEで全社員に毎日発信
組織資産	連携力	<ul style="list-style-type: none"> ・営業と営業アシスタントがメールで情報を共有しており注文や指示など対応がスピーディに行えます ・お客様の困り事をグループ間で共有し、解決策を導く体制が出来ています
	スピード感	<ul style="list-style-type: none"> ・工具は基本当日もしくは翌日自社便での配送。クレーム対応や困り事対応、見積りなど普段からスピード感を社員全員が意識しています ・『すぐにやる』という意識が社員にとって当たり前のマインドです
	企業風土	<ul style="list-style-type: none"> ・親孝行しようプロジェクト、誕生日プレゼント、グループ全体での親睦会など社員とその家族に喜んでもらえる取組みを行っています ・社員が経営幹部にいつでも提案ができる制度・雰囲気があります
関係資産	取引先	<ul style="list-style-type: none"> ・当グループの取引先は500先を超えています。この地域で50数年培ってきたノウハウと信頼関係から、続けて取引したいと思ってもらえる、何でも相談してもらえる関係が構築できており、顧客満足度は高いと考えています
	地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食事業…食を通じて『心を元気に』をモットーに直営店、FCを運営。 ・農業事業…日本の食卓を支える事でものづくりを元気にしていきたいとの思いで展開しています。(トマト栽培/コスメへの転用/近代的な農業のモデル作り) ・子ども食堂…月に数回、子ども食堂として店舗を利用頂いています
	海外事業	<ul style="list-style-type: none"> ・マレーシアで現地法人tB5マレーシアが焼き鳥『金の壺』を運営しています。 ・東南アジア進出企業へのものづくりサポート…日本から輸出された機械や現地調達した機械のセットアップやメンテナンス、海外企業と日系企業のマッチング、現地日系企業のトータルサポートを行っています

6. 現在価値ストーリー

モノづくりを支援する企業として国内企業支援、海外進出のサポートを行う

お客様、社会に貢献

顧客利便価値

お客様の仕事がスムーズになる(スピードが早い)

お客様の役に立つ(何でも相談、解決)

お客様を楽にする(ワンストップ体制)

頂いている価値

選ばれる会社

安定した売上・利益

繰り返し要望

コングロマリットで連携

サービス特長

スピーディーな提案

Face to Face

グループ5社7つの事業

専用機、FAを一貫してできる

仕組み

営業担当と技術者の同行訪問

困り事を聞く⇒グループ内で誰かが受けてくれる、スピード感

取組み

グループ間でミーティング⇒情報共有

一体感の強化

地域密着

グループ間での技術指導や社員交流

ノウハウの蓄積

組織化

ビジョン方針

【知行合一】

知識だけがあっても実践したことがなければ知らないことと同じ。行動が伴ってはじめて、その知識は完成される。

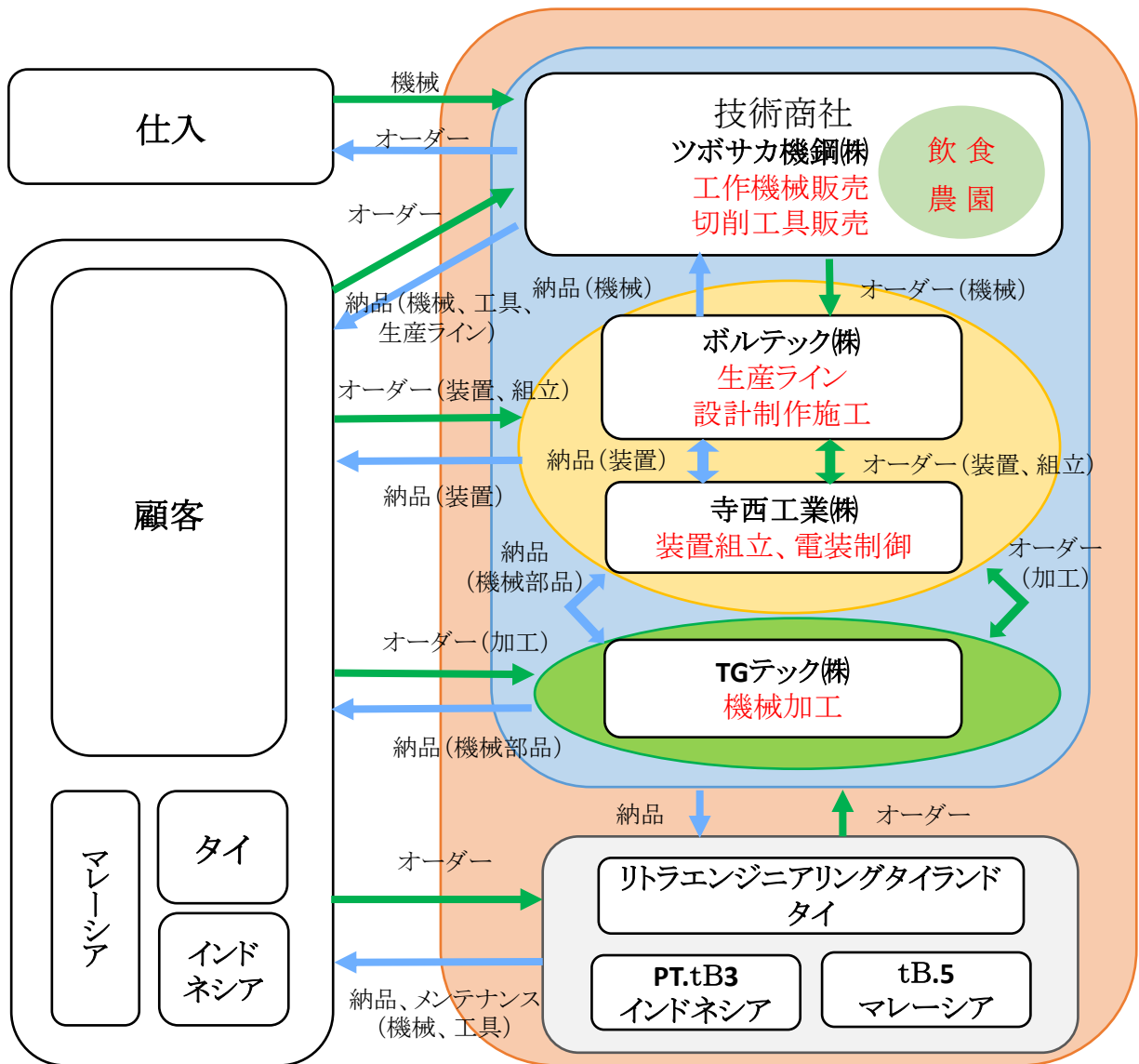
ミッション理念

この企業は自己を世に問う舞台であり、社会に尽くす手段である。そして我々は、高い理想を目指す企業集団である。

tBグループとしてもものづくりをサポートすることで社会貢献する



7. TEAM tB 商流



チームtBは、国内ではツボサカ機鋼(株)(飲食部門・石原農園)、ボルテック(株)、寺西工業(株)、TGテック(株)の4社及び海外法人で構成されています。ツボサカ機鋼(株)は技術商社としての役割を担い、ボルテック(株)は生産ラインの設計製作、寺西工業(株)は機械組立、TGテック(株)は機械加工をそれぞれ行っています。グループの総力を挙げて顧客の課題解決に取り組んでいます。

8.市場環境(経営課題と戦略)



東京商工リサーチ調べ

【機械器具卸売業 市場環境変化予測】

機械器具卸売業については、これまで幾度となく「商社不要論」が持ち上がっています。しかし、工場等で生産設備の新設を行う場合、直接メーカーから購入すれば済むわけではありません。導入する機械設備だけでなく、多岐にわたる周辺機器の製品に関するノウハウが必要となります。その場合は、多くの仕入先にチャンネルを持つ機械卸がユーザーとメーカーの間に入り、ユーザーの様々な要望に応えます。

また、メーカーの製品を購入して安定生産に寄与し、信用が低い小規模なユーザーには間に入り取引を成立させるなど金融の役割も果たしています。

業界の業績推移としてはコロナ禍前の2018年度は売上規模42兆9,522億円。コロナ禍では影響を受け横ばいとなったものの、2022年度は46兆2,395億円と大きく回復しました。

一方で、2023年には大手ベアリングメーカーの代理店であった堀正工業(株)を含め機械卸の倒産が増加しています。

【市場環境を踏まえた当社の経営課題と戦略】

卸売業全般においてECサイトの普及と物流の充実化によるメーカー直販が進み、卸売業を介さない取引形態が増加しつつある中で、当社はどのようにお客様に対して付加価値のある提案が行えるかということが喫緊の経営課題です。当グループは確固たる経営理念のもと工具機械器具の卸売業と専用機、FA機器を設計から据付までワンストップで受注できる体制を確立し利益率の向上とグループ内体制の整備に取り組んできました。地域の中小企業については自動化が遅れており多くのビジネスチャンスがあると捉えています。

今後我々はより専門的な知識と豊富なアイデア・提案が求められます。TEAMtB間での情報共有や知識レベルの平準化、営業の高度化により当グループの強みを活かしたソリューションに注力し、地元地域に貢献することで当グループのブランドイメージを高め、市場環境に立ち向かっていきたいと考えています。

9. MISSION MAP



VISION

実現したい未来

共存共栄
姫路地域への貢献

未来軸

VALUE

約束する価値
持ち味

お客様の仕事が
スムーズになる
お客様の役に立つ
お客様を楽にする

企業軸

MISSION

果たすべき使命

社会の役立つ
ものづくりの支援

人材軸

SPIRIT・CREDO

行動指針

大切にすべき精神

グループの良さを
「知る」「共有する」
伝える

シンボル化

SLOGAN

ブランドの合言葉

知行合一
チャレンジ



10. 将来価値ストーリー

枠線色、文字色の説明

今後、更に強化する知的資産

今後新たに獲得する
知的資産

モノづくりを支援する企業として国内企業支援、海外進出のサポートを行う

お客様、社会に貢献

利便性の向上、付加価値の強化

顧客利便価値

お客様の仕事がスムーズになる(スピードが早い)

お客様の役に立つ(何でも相談、解決)

お客様を楽にする(ワンストップ体制で手間いらず)

頂いている価値

選ばれる会社

安定した売上・利益
信用に基づく適正な価格

繰り返し要望

コングロマリットで連携

サービス
特長

スピーディーな提案

Face to Face

グループの良さを活かした提案

グループ5社7つの事業

専用機、FAを一貫して提案できる

仕掛け
仕組み

営業担当と技術者の同行訪問

グループの良さをお客様へアウトプット

困り事を聞く⇒グループ内で誰かが受けてくれる、スピード感

取組み

グループ間で幹部ミーティング⇒情報共有

一体感の強化

地域密着

ノウハウの蓄積

組織化

グループの良さを理解する研修

ビジョン
方針

【知行合一】

知識だけがあっても実践したことがなければ知らないことと同じ。行動が伴ってはじめて、その知識は完成される。

ミッション
理念

この企業は自己を世に問う舞台であり、社会に尽くす手段である。そして我々は、高い理想を目指す企業集団である。

tBグループとしてもものづくりをサポートすることで社会貢献する



11. 今後のビジョン

FAのツボサカ機鋼⇒ブランド化
グループ各社の独立採算制
グループ間の連携強化

3年後

60周年
6年後

55周年
1年後

人材育成
営業力強化
技術力向上

グループ売上100億円
従業員数200名



12.CSR(企業の社会的責任)

『Team tB』は、企業理念に基づきお客様とメーカー様の満足を追求すると共に、地域社会や地球環境に与える社会的影響を考え、地域の人々やお客様の社員など人々の暮らしに貢献できる事業を行っています。

地域貢献活動

周辺住民の方にお花のプレゼントなど、地域の美化活動及び地域のコミュニケーションの活性化のお手伝いを行っている



各種イベント開催

tBナイトや季節ごとにBBQなどのイベントや従業員による手作りによる婚活パーティーなどにより交流を深めている



応援活動

独立リーグ姫路イーグレッターズ
ASハリマアルビオン
バイクレーサーの安藤勝紀さん
ヴィクトリーナ姫路 などの
スポンサー



こども食堂

地域の子供達の為に運営している飲食店店舗を、昼の時間はNPO団体に利用いただいている

13.SDGsの取組み



SDGsとは持続可能な開発目標という意味で、17の目標が存在します。各目標にはそれぞれターゲットというものが存在しており、合計で169個もあります。当グループのSDGsの取組みを下記に示しています。

1	こども食堂への協賛	7	太陽光発電事業
2	トマト農園の運営	8	風通しの良い社内イベント 地域貢献活動
3	健康診断	9	ものづくり企業への 自動化サポート
4	社内研修	12	大手企業の検査フリー
5	外国人・女性の積極雇用	17	グループの良さを 活かした事業展開

14.あとかき

I.知的資産経営報告書とは

「知的資産経営報告書」とは、企業が有する技術、ノウハウ、人材など財務諸表には表れてこない目に見えにくい経営資源『知的資産』の認識・評価を行い、それらをどのように活用して企業の価値創造につなげていくかを示す報告書です。過去から現在における企業の価値創造プロセスだけでなく、将来の中期的な価値創造プロセスをも明らかにすることで、企業の価値創造の流れをより信頼性をもって説明するものです。

II.注意事項

本報告書に記載しました将来の経営戦略及び事業見込み等は、全て現在入手可能な情報をもとに、弊社の判断にて掲載しています。そのため、将来にわたり弊社の取り巻く経営環境の変化によって、これらの記載内容などを変更すべき必要性が生じることもあり、その際には本報告書の内容が将来実施または実現する内容と異なる可能性があります。

よって、本報告書に掲載した内容や数値などを、弊社が将来にわたって保証するものではないことを、十分に了承願います。

III.作成者

tBグループ
代表 壺阪 康裕

IV.作成協力

ツボサカ機鋼株式会社	取締役常務	三木 幸司
ボルテック株式会社	取締役常務	濱端 享介
TGテック化株式会社	取締役専務	吉野 勝
寺西工業株式会社	取締役常務	段林 直哉
但陽信用金庫		

V.お問い合わせ先

ツボサカ機鋼株式会社 〒670-0057 兵庫県姫路市北今宿1丁目6-26

VI.作成日

2024年10月10日

<http://www.tsubosaca.com/>
info@tsubosaca.com



TEAM

tB

